陣内俊　Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2024 年 10-12 月号
Vol.67

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈りと尊いご支援を心より感謝します。

私たちの家族にとっても長女の小学校入学、鬱予防のための 8 月の北海道滞在など様々なことがあった 1 年間でしたが、気候変動、自然災害、感染症、他人事でない遠い国の戦渦に取り巻かれる今の時代、主の守りのなか健康が支えられ、元気に年末を迎えられることは当たり前ではなく望外な恵みです。

9 月 21 日に長女は 7 歳になり、小学校の友達の家に遊びに行くなど満喫していますし、10 月には幼稚園の運動会で次女が誰よりも元気にダンスを踊る姿を見られました。3 年前までは東京の猛暑で体調を崩し毎年秋には季節性の鬱で動けなくなっていましたから、北海道での避暑が様々にプラスに作用しているのを感じます。主の呼び声にお応えして生きるというのは困難も伴いますから、志を共有する仲間や北の大地や家族に癒され支えながら、ときには自分を大切にして息長く活動していくことの大事さを教えられています。何より支援者の皆様の祈りがあっての働きですので、今年も共に歩んでくださったことを心より感謝します。新しい年も皆様と共に主の呼び声にお応えして歩めましたら幸いです。

南浦和バプテスト教会との 16 年間／包括的宣教の拡がり

鬱の休職中を除き、2010 年以来毎年 10 月ごろに南浦和バプテスト教会（以下 MUBC）にて礼拝説教と午後のワークショップという形で奉仕させていただいてきました。教会の皆様からは家族ぐるみで教会のメンバーのように温かく遇していただき、説教やワークショップだけでない様々な形で共に歩んできた感覚があります。「包括的宣教」という FVI の宣教観に共鳴いただき、浦和駅での聞き屋ボランティアの実践や、『もしイエス様が市長だったら』に書かれた「愛の訓練」「愛の種まきプロジェクト」の実践などの訓練もさせていただきました。2011 年の震災支援活動など、私以外の影響や学びももちろんあるかと思いますが、MUBC の現在の働き（「つなぎて」という地域支援の社会的事業）や**「地の塩、世の光として仕える教会」**という教会のビジョンも私の説教やワークショップに霊感を受けて生まれてきた、と仰っていただきました。主任牧師の横田栄先生は 2008 年に MUBC に就任しましたが、奇しくもそれは私が豊橋市の職員を辞して宣教の働きに飛び込んだ年と同じでした。

今年の説教とワークショップでは、私と栄先生の 16 年の歩みが神にあって「MUBC という教会の物語」に織り込まれ、さらに偉大なご計画のなかで神がご自身の物語を織りなしておられるということを振り返りました。16 年という長期にわたりひとつの教会にこのように関わらせていただき、微力ながら宣教の働きのお力になれてきたということは大きな特権です。

11 月 25 日には御茶ノ水クリスチャンセンターにて開催されたアジアンアクセスジャパン大会 2024 にて、ローザンヌ運動についてのパネルディスカッションの司会をさせていただきました。包括的宣教を掲げる FVI はローザンヌ運動とも共に歩んできましたから、このように貢献させていただけることは感謝です。また、会場で出会った熊本県から参加されたある牧師は『もしイエス様が市長だったら』の読書会を毎週教会で続けてくださっており、「この本の理念を教会形成の基礎としたい」と仰ってくださっています。3 月にはその教会を訪問し、様々な地域奉仕と宣教の働きを視察／見学させていただく計画を立てているところです。日本の様々な地域で奮闘されている方々の教会形成や包括的宣教の働きに貢献できますのは感謝に堪えません。皆様のお祈りと支えに心より感謝します。

アジアンアクセスジャパン大会 2024 のパネルディスカッション

福音的 LGBT アライの働き

皆様にもお祈りいただきながら「福音的 LGBT アライ*」として、昨年の秋から歩みを続けてきました（＊アライ＝連帯し応援する非当事者のこと）。振り返りますと、1 年間で本当に様々な出会いを神様が与えてくださいました。保守的福音派の教会では LGBT に関する理解はまだ十分には進んでおらず、「むしろ断罪すべき」と考える方も大勢いらっしゃいますから（当レターの性質上可能性は低いですが読者の中で万一、それが信仰の確信であるなら、過去にも書いたようにどうぞその確信を大切になさってください）、歩き始めたときは「たった一人」という孤独な思いもありました。しかし、この 1 年間で数多

くの性的マイノリティ当事者の友人や知人ができ、福音派の中で勇気をもってアライを表明している信徒や教職者の方々とも繋がりができました。

福音主義の神学校を卒業し、性的マイノリティの居場所をつくるため「約束の虹ミニストリー」を主催しているトランス男性の寺田留架君もその一人です。留架君は出生時の性は女性、性自認が男性で、女性として扱われることに違和感と苦痛があります。母親のお腹にいるころから教会に通っていたという留架君は、神様とイエス様のことは大好きでしたが、キリスト教書店で見つけた本に「神に造られた性別（出生時に割り当てられた男／女）に従って生きるべき」と書かれているのを読み、大きな恐怖を覚えました。キリスト教には拒絶されるかもしれないと思いつつも、神様が自分を見捨てるとは思えなかったので「なぜ俺を男性の身体に造ってくださらなかったのですか？　もしくはなぜ心を女性にしてくれなかったのですか？　明日起きたとき身体と心のどちらかをどうか変えてください！」と神様に叫ぶ日々でした。その後不思議と、「この心」と「この身体」で造っていただいたことには意味や目的があるという確信が与えられる経験をし、初めて未来に希望を持てるようになったといいます。講演のなかで留架君は**「創世記１章に神は夜と昼をつくられたと書いているが夕焼けや朝明けをつくらなかったわけではない。海を泳ぐ魚と翼のある鳥を創造されたと書いているがペンギンやカモノハシを創造されなかったわけではない。だとしたら男／女の二元論に当てはまらない性的マイノリティの方々も、ありのままで神に創造していただいたのではないか」**と語ります。

今年の春から約束の虹ミニストリーが主催する当事者とアライの居場所「虹ジャム」に私も参加するようになりました。10 月 24 日にオンラインの「虹ジャム礼拝」でメッセージを依頼されたことは、私の歩みにとって大きな一里塚となりました。『みんなちがって、みんないい』というメッセージを、ガラテヤ書 3 章 26～29 節から語らせていただきました。「一つの言語と帝国的野心」のバベルは一様性の物語であり、「多様な言語と文化による賛美と神の前のへりくだり」のペンテコステは「イエスにあってひとつだからこそイエスにあって多様」を体現します（『神の物語』マイケル・ロダール著より）。ガラテヤ書 3 章でパウロは信徒たちに**「ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由人もなく、男と女もありません。あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって一つだからです（28 節）」**と語りかけます。二分法で世界を捉える人間の脳内にある男／女という二元論の先入観を疑わせてくれる留架君のような性的マイノリティ当事者の存在は、あらゆる二分法的思考を超えた多様さをもつ新天新地の豊かな味わいを、預言的に私たちに見せてくれている神からの恵みの器だと私は学んでいます。

アライのイメージ（作画：寺田留架）

左図および下引用：「約束の虹ミニストリー」の活動報告レター（2024 年 10 月号）から許可を得て転載。

「当事者の痛みは当事者にしかわからないという側面もありますが、同時に、このように共に痛みを負いながら歩もうとしてくださっているアライの方たちなしに、この働きが進むことはないと思っています。すでにセクシュアリティのことで悩み、さらにそのことでキリスト教の中で傷つけられ排除されてきた当事者だけで現状を変えるために活動するというのはかなり難しいです。そんなときに、教会と当事者との間に立って、ご紹介したふたりのように味方となろうとしてくださっているアライの方々の存在が欠かせないのです」

＊「ご紹介したふたり」のひとりが私（陣内）のことです。

動画リンク：
メッセージ「みんなちがって、みんないい」

動画リンク：
教会での寺田留架君の講演会（オススメです！）

祈りの課題

◇純子・かなえ・ななみ・俊の体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
◇年明けは 2 月に愛知県（友人の結婚式／教会訪問）、3 月に熊本（包括的宣教の訓練／視察）の他にも出かける予定が数多くありますので、健康、旅程が守られ会うべき人に会い、話すべきことを話せるように。
◇福音的 LGBT アライの働きに対する誠実な批判は歓迎ですが、心無い中傷や非難を受けることも多々あります。主が私たち家族（と当事者の方々）を守ってくださりイエスの心と忍耐で活動を続けられるように。
◇YouTube／Podcast での発信を続けており、クリスチャンではない多くの方々にも聴いていただいています。聴いてくださる方々に神が日々を生きる希望を与えてくださるように。

2024 年 12 月以降の主な活動予定

月　日	内　容	場所、補足
12 月 8 日	礼拝説教	清瀬福音自由教会（清瀬市）
12 月 27 日	同上	同上
2025 年 1 月 26 日	礼拝説教	幡ヶ谷バプテスト教会（渋谷区）
2 月 18-19 日	FVI 役員会	万座温泉ホテル（群馬県）
3 月下旬	礼拝やセミナー奉仕／包括宣教視察	熊本県（予定）
随時継続的に	教会を建て上げる情報発信／訓練／啓発（エペソ 4：12）	国内各地／オンライン

＊上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼もこちらへ）

陣内への Email　shun@karashi.net　**無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索**

ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

■ゆうちょ銀行口座番号　12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
■他行からの振込　店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825　「陣内俊を支える会」
■郵貯振替口座番号　00830-1-142825　名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

＊振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
＊振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
＊Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。